

週間漁海況情報 2021年第38号

令和3年9月28日発行

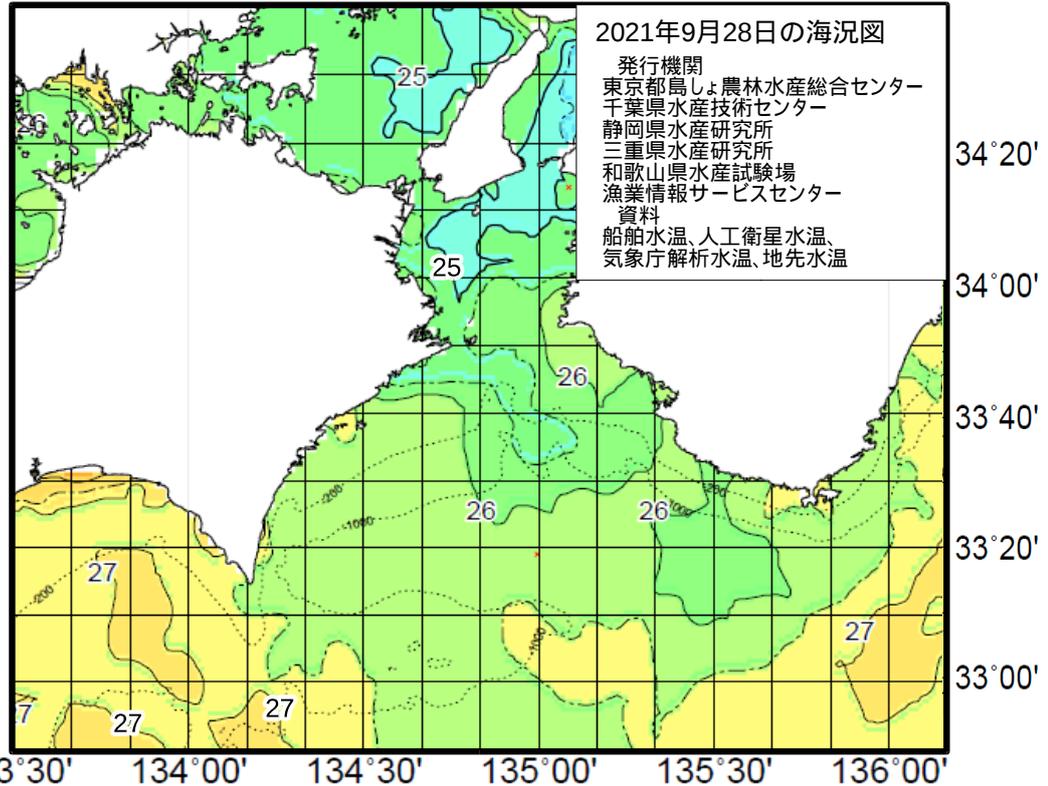
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖50マイル、潮岬沖150マイル以上を流れ、室戸岬沖は「離岸」、潮岬沖は「著しく離岸」となっている。

黒潮から海部沿岸への暖水波及は弱まり、大阪湾より24台の内海水が紀伊水道へ南下している。黒潮の表面水温は27,28台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘、紀伊水道が24,25台、海部沿岸が25,26台となっている。



黒潮の離接岸の表現

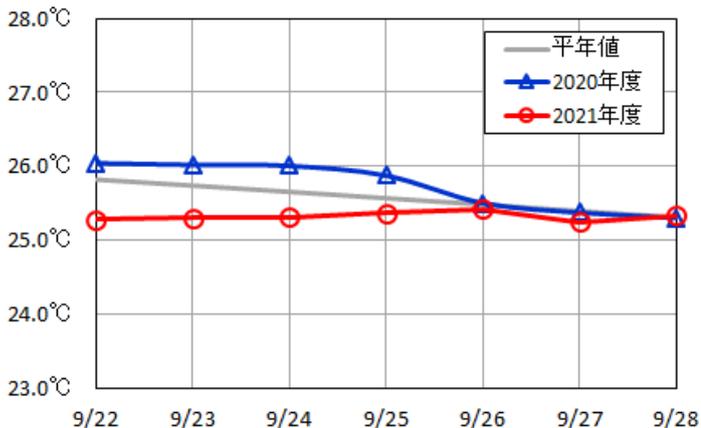
(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

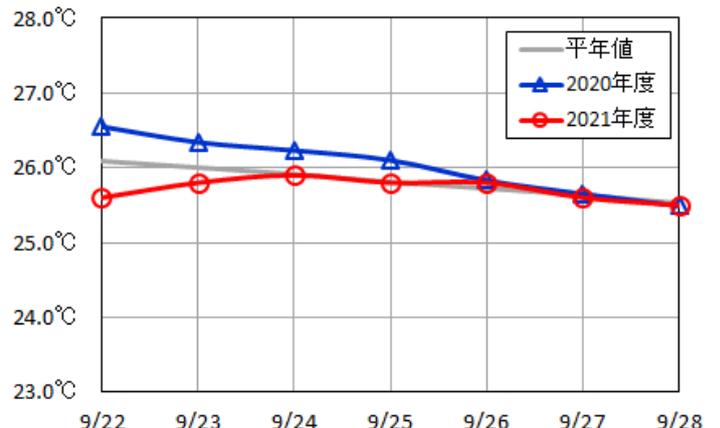
2. 地先水温(9月22日～9月28日)

鳴門地区の水温は25.3～25.4 で「やや低め」から「平年並み」、日和佐地区は25.5～25.9 で「平年並み」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は0.2～0.6 となった。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み：平年値±0.5 未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5 以上1.5 未満
高め/低め：平年値±1.5 以上2.5 未満、かなり高め/かなり低め：±2.5 以上

平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(9月29日～10月5日)

黒潮は、室戸岬沖で「離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」で推移する見込み。
地先水温は、鳴門、日和佐地区ともに「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (9月20日～9月26日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)

船びき網では、シラスが大きく増えて218.8ト水揚げされた。
 延縄では、ハモが増えて中主体に3.2ト、タチウオが大きく増えて特大主体に0.8ト、サワラが大きく増えて0.3ト水揚げされた。
 小型定置網では、マダイが大きく増えて小主体に0.7ト、マアジが増えて豆アジ主体に0.6ト、カンパチが大きく増えて0.5ト、ブリが大きく増えて0.5ト水揚げされた。
 底びき網では、ハモが増えて中主体に5.3ト、タチウオが大きく増えて1.1ト、えそ類が大きく増えて0.7ト、マダイが大きく増えて大主体に0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

釣りでは、タチウオが増えて0.4ト水揚げされた。
 延縄では、キダイが大きく増えて大主体に0.4ト、うつぼ類が増えて0.3ト水揚げされた。
 小型定置網では、マアジが大きく増えて豆アジ主体に1.7ト、かます類が1.6ト、ヒラソウダが大きく増えて0.6ト、マルソウダが大きく増えて0.6ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比
紀伊水道	船びき網	125	シラス	218,750	1,750		
	延縄	61	ハモ	3,184	52	中主体	
		64	タチウオ	781	12	特大主体	
		25	サワラ	272	11		
	小型定置網	22	マダイ	684	31	小主体	
		23	マアジ	577	25	豆アジ主体	
		22	カンパチ	511	23		
		14	ブリ	460	33		
	底びき網	41	ハモ	5,303	129	中主体	
		34	タチウオ	1,099	32		
		20	えそ類	688	34		
		30	マダイ	243	8	大主体	
	海部沿岸	釣り	31	タチウオ	449	14	
延縄		14	キダイ	369	26	大主体	
		5	うつぼ類	288	58		
小型定置網		12	マアジ	1,745	145	豆アジ主体	
		15	かます類	1,585	106		
		12	ヒラソウダ	622	52		
	11	マルソウダ	599	54			

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: